

行動心理症状（BPSD）

認知機能の低下により、不安、被害妄想、徘徊、興奮などの症状を行動心理症状（BPSD）と呼びます。環境調整で、軽快する場合がありますが、多くは症状に対しての薬物治療が必要となります。最近では、従来からの気分安定剤のほか、依存性の少ない睡眠薬、またアルツハイマー病の焦燥感、易刺激性、興奮、攻撃に対して正式に適応となった薬物治療もあります。